予算等審査特別委員会

委員長　小田島　久美子
副委員長　ひぐち　のりこ

本委員会は、全議員54人で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。
委員会は、2月24日から11日間開催され、延べ98人の委員が約40時間にわたり審査を行いました。
主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

猪又　隆広　委員

○フードドライブの認知度向上と回収ボックス設置の拡充
○フードバンク団体支援の拡充
○商店街連携の重要性と支援
○商店街等買い回りキャンペーン早期実現とデジタル支援
○陸奥国分寺等、文化財や史跡を生かしたまちづくりの推進
○新型コロナまん延に伴う保護者等への発信と教育長会見を

内藤　良介　委員

問　南仙台駅移動実態調査の内容と今後の検討について伺う。
答　東西の出口の利用者比率や自由通路利用者数を調べ、JR東日本と共に、簡易なものも含め利便性向上策を検討する。
○防災教育に新たな遊びながら学べるプログラム実施を
○若者の就職支援・奨学金返還支援のさらなる学生の利用を

千葉　修平　委員

問　快適な学習環境等のため、森林環境譲与税を使い長寿命化が進む学校施設の内装木質化を。
答　ご指摘の税の活用は難しいが技術・費用面で検討する。
○本市ゆかりの人や歴史等のストーリーを生かす観光戦略を
○コミュニティ・スクール導入支援の充実を

高橋　卓誠　委員

問　保育園のきょうだい別園問題に進展が見られない。目に見える結果を強く求む。
答　個別ニーズへの対応が重要と認識し、他都市の例も参考に兄弟姉妹が同施設を利用できるような対応を早急に図る。
○向山中央公園大型遊具の活用
○子どもの遊び場実証実験
○私道共同排水設備引取り制度

菅原　正和　委員

問　東部沿岸エリアの回遊性向上を図る上で、歴史と文化がある貞山運河の利活用の考えは。
答　市民や企業、国や県等とも協力し、貞山運河を含む魅力あるエリアの活性化に取り組む。
○仙台まちづくり若者ラボの今後の方向性と提案の生かし方
○交通指導隊の公務災害補償の詳細と対応事案について

加藤　和彦　委員

○世界と戦える人材育成のため、GIGAスクール構想を進めるに当たり語学の強化を
○外部人材が児童生徒にプログラミング等を教える取り組み
○楽都仙台ゆかりの音楽関係者の功績をたたえる取り組み
○海鋒義美先生を顕彰する企画・事業への支援

橋本　啓一　委員

○交流人口ビジネス活性化戦略はコロナ禍に対応した東北各都市との連携を進めるべき
○東北各地域や事業者と密着したローカルツーリズム推進
○東北ロードトリップ推進事業では各地の周遊を促す工夫を
○オンライン観光とデジタルマーケティングの有効活用

岡部　恒司　委員

○ロシアのウクライナ侵攻に協力するベラルーシのミンスク市との姉妹都市交流見直し
○中小企業等事業復活支援給付金は売上高減少率30％以上50％未満でも対象にすべき
○明確な作戦を立て兄弟姉妹が別保育園となる問題の解消を
○世界一の音楽ホール整備を
○G7関係閣僚会合誘致は時機を逃さずトップセールスを
○イノシシの安全な処分のため国に猟銃の制限緩和要望を

庄司　俊充　委員

問　本市の木材利用促進支援事業とその予算の概要を伺う。
答　県産木材を使用した木造住宅を新築する場合に、その使用量に応じて費用の一部を補助する。予算額3000万円で財源は全て森林環境譲与税である。

市民フォーラム仙台

佐藤　わか子　委員

問　羽生結弦選手に緑化フェアのPRへの協力を要請すべき。
答　プロモーションへの協力等、本人の意向も伺っていく。
○緑化フェア会場に周遊バスを
○元寺小路福室線の街路樹の早急なボリューム不足解消
○児童養護施設等業者への支援
○地域支え合い活動事業の拡充
○泉区の住宅地の住民を守るためのイノシシ対策を
○県を見て市民を見ない仙台市であってはならない
○ヤングケアラー支援体制強化等の新規事業は支援が本当に必要なところに届く事業に
○ベラルーシの首都ミンスク市との姉妹都市提携は解消を

安孫子　雅浩　委員

問　対策が必要な26カ所中、現在11カ所対応中で、令和4年度中に残り15カ所を実施予定。
答　対策の実施状況と予定を伺う。
○エコモデルタウン事業の総括
○公園の健康遊具の調査と改善
○三居沢交通公園の早期修繕

渡辺　敬信　委員

問　広瀬通の街路樹根上がり対策の実施状況と予定を伺う。
答　対策が必要な26カ所中、現在11カ所対応中で、令和4年度中に残り15カ所を実施予定。
○エコモデルタウン事業の総括
○公園の健康遊具の調査と改善
○三居沢交通公園の早期修繕

渡辺　敬信　委員

○市有スポーツ施設や有料公園の使用料減免制度について
○大規模改修等工事期間中の市立学校に対し一層の周知を
○街区公園内に設置されているトイレの外壁等の維持管理に民間の力を導入し、安全・安心に使用できる環境整備を

沼沢　しんや　委員

問　郡山遺跡の歴史公園としての整備に向け、スピード感と熱意を持った取り組みを。
答　遺跡の調査を継続しながら、整備に向け着実に取り組む。
○郡山遺跡におけるガイドボランティア養成の必要性
○スタートアップ支援の強化

鈴木　すみえ　委員

○全ての市民を支援の対象とする重層的支援体制整備事業の本市の取り組みについて
○介護職員の確保と処遇・労働環境改善への取り組み
○介護保険料の上昇抑制と財源
○復興公営住宅のコミュニティ活性化と孤立死防止対策

細野　たかし　委員

問　令和5年4月までに各校に導入されるコミュニティ・スクールの実効ある取り組みを。
答　学校・家庭・地域が一体となり、児童生徒の成長を支える機能を果たせるよう支援する。
○家庭用除雪機の購入助成を
○地域間の協働による除雪支援

郷古　正太郎　委員

問　障がい者就労施設からの優先調達促進と民間への広報を。
答　庁内への働き掛けや民間調達事例の紹介等を行っていく。
○フレイル予防の啓発
○ひとり親支援事業の執行率

全国都市緑化フェア初日に開館する仙臺緑彩館で木材利用PRを（写真は内部）

問　八木山動物公園駅前周辺の街路樹の剪定方法は適切か。

鈴木　勇治　委員

○泉区役所建替事業について、事業予定者を決定したが、現行案では交通渋滞対策や地域活性化の視点が希薄。当局に修正を求めたい。
○富谷市への地下鉄南北線延伸。
○ロシアによるウクライナ侵攻。
○小児対象コロナワクチン接種。
○紫山コミセン設置の検討状況。

小野寺　健　委員

問　デジタル化に係る協定を締結中の事業者の提案は、担当課ではなく有識者が判断すべき。
答　専門家の知見も重要だが、多様な観点での整理が必要なため、担当課が最終判断している。
○消化ガス発電事業で生じる消化汚泥は焼却せず有効活用を

山下　純　委員

問　敬老乗車証制度は全国的に改正の動きがある。本市の今後の方向性について伺う。
答　将来に向けて持続可能な制度とするため、利用状況調査等を踏まえ、在り方を検討する。
○敬老乗車証の事業費の周知
○学校給食残渣等のリサイクル

高齢者の社会参加促進・福祉の増進に資する敬老乗車証制度の継続を

○公共建築の県産木材活用拡大
○未来の農業を担う若手支援
○全国都市緑化仙台フェア

渡辺　博　委員

○東北大学との包括連携で優れた知見を活用し行政課題解決
○膨大な震災廃棄物処理の道を開いた職員の評価と人材活用
○犯罪情報の共有により弱者を守る安全安心な仙台の実現
○県条例の改正に伴う地中熱有効活用促進とエネルギー自立型のまち仙台の実現を

答　電線に干渉しないよう剪定したが、今後は景観に配慮しながら樹形を再生していく。
○市内緑地の積極的な保全策
○太白山周辺緑地の公有地化
○未整備の公園予定地の活用
○旗立緑地へのトイレの増設

渡辺　博　委員

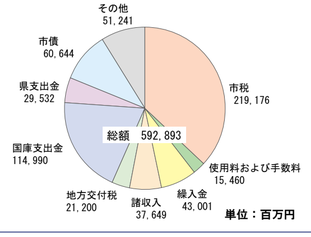
○就学援助のさらなる拡充
○教員の多忙化解消とDX化

貞宗　けんじ　委員

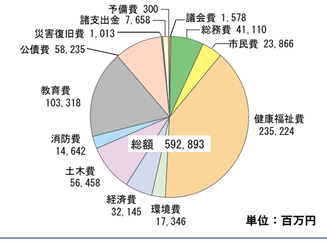
令和4年度　各会計別歳出予算総括

会計区分		当初予算額（百万円）	対前年度比（%）
一般会計		592,893	102.9
特別会計	都市改造事業	1,111	40.3
	国民健康保険事業	92,682	103.7
	中央卸売市場事業	3,055	71.9
	公共用地先行取得事業	939	96.7
	駐車場事業	162	94.0
	公債管理	118,397	100.1
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	162	209.2
	新墓園事業	812	125.2
	介護保険事業	83,827	99.3
	後期高齢者医療事業	13,908	111.8
	小計	315,055	100.5
企業会計	下水道事業	65,279	97.9
	自動車運送事業	12,877	102.4
	高速鉄道事業	34,891	103.0
	水道事業	47,551	103.3
	ガス事業	47,561	124.5
	病院事業	21,481	96.9
	小計	229,640	104.6
総計		1,137,588	102.5

令和4年度　一般会計歳入予算費目別内訳



令和4年度　一般会計歳出予算費目別内訳



公明党

答　世界有数のホール同様、多くの人に愛され末永く存続が望まれる施設を目指す。
○生理用品配布の継続的実施を

〈健康福祉費〉

○がん対策推進企業アクション
○さらなるフレイル予防の充実
○共生型サービスの推進
○視触診の有効性を含め国指針改正や受診者の利便性を踏まえた乳がん検診体制の検討を
○新生児誕生祝福事業に本市ブランド品や絵本等品目拡大を
○産後ケアの訪問型の周知強化
○在宅生活の重度障がい児者に自家発電機等購入の補助を
○ピアリングフレイルアプリで難聴予防の推進を
○子ども食堂助成は人件費や営利団体の光熱費等も認めよ

〈土木費〉

○公的施設の門前除雪
○元気広場等荒町の再整備とまちづくり研修センター設置を

〈消防費〉

○消防団協力事業所と団員への活動支援、休団制度等の活用
○災害時要援護者の個別避難計画を推進するための相談窓口の設置、アドバイザー派遣、避難訓練の実施を
○災害時の迅速な住まいの確保に防災・家バンクの活用を

〈教育費〉

○学校支援地域本部のスーパーバイザー等の育成強化
○学校を核とした地域づくりを推進するための理解促進策

〈歳入〉

○市施設内の自動販売機設置による歳入増とコロナ禍の影響
○全区役所で電子決済とマイナンバーカードによる印鑑証明

〈総括質疑〉

問　青葉通広場化は、仙台駅西口ペデストリアンデッキ延伸による、青葉通上空の芝生公園広場化も検討すべき。
答　社会実験の結果を踏まえ、提案のデッキ形式を含む複数の方策を比較検討し、本市の顔にふさわしい広場を整備する。
○中小企業等事業復活支援給付金の対象拡充
○中心部震災メモリアル拠点
○南北広域拠点のまちづくり

青葉通上空の芝生公園広場化のパース

日本共産党

嵯峨　サダ子　委員

問　みやぎ型管理運営方式による水道民営化で、県は収支計画等を開示できないとした。市民に対し責任が負えないのでは。
答　市民へ説明責任を果たす上でも県の情報提供が必要。引き続き情報提供を求めていく。

庄司　あかり　委員

問　市街化調整区域の規制は、地域の状況を考慮して運用を。
答　国の動向や他都市事例を情報収集し、調査研究していく。
○宮沢根白石線南鍛冶町工区の交通の安全対策・渋滞対策
○起立性調節障害の理解促進

すげの　直子　委員

○ごみ袋の値上げをしなくてもごみ減量・リサイクルを
市民と共に進めることは可能。
ごみ袋の値上げはあり得ない。
○男女色別体操着をやめ制服選択制等ジェンダー平等推進を
○国保料のさらなる引き下げを

高見　のり子　委員

○児童虐待予防体制強化のため、国の政令基準に合わせ児童相談所の増設を急ぐべき
○子どもの権利擁護のため、アドボケイト派遣事業活用を
○アーチルは相談までの待期期間の改善のためにも、各区に1カ所を位置付け、直ちに3館目の設置を急ぐべき

高村　直也　委員

○スーパーシティにおける第三者委員会には、個人情報保護をしっかり検証する委員を
○担い手が不足する町内会同士がイベントなどを連携して開催する際の支援
○温室効果ガス削減アクションプログラムの第1年度の報告書の評価と今後の対策

ふるくぼ　和子　委員

○泉区役所の敷地は、泉市時代からの市民の共有財産。交通課題の解決や泉中央地区の活性化は、市が責任を持つべき。売却はやめ、事業をやり直すことを求める。
○敬老乗車証制度の拡充を求める多数の声を聞かずに行う方の検討を進めてはならない

相談まで2カ月から4カ月待たされる状況の改善を（写真は北部アーチル）

社民フォーラム

いのまた　由美　委員

○医療的ケア児支援について、県と連携した切れ目ない支援体制の充実を図ること。また、学校への看護師配置や通学支援等に取り組み、共に学ぶインクルーシブ教育を進めよ。
○子育て応援まちづくりには、地域の人とのつながりづくりを後押しする視点を持つべき
○児童の虐待死を防ぐ改善点

せんだいのびすくサポーターはアプリ等で簡単に検索可能（写真はステッカー）

問　令和5年に本市で開催する全国都市緑化フェアにおける七北田公園の連携策を伺う。
答　連携会場とすることに加え、平成元年に本市で開催した緑化フェアのパネル展や、花壇の修景等の検討を進めている。
○泉区役所建替事業の課題等
○生活道路や通学路の安全対策
○宅地擁壁の安全対策の支援
○地下鉄南北線の北伸への対応

石川　建治　委員

○製品プラスチック一括回収・回収される総量の見積もり・リサイクルの方法・国からの特別交付税措置
○指定ごみ袋のバイオマスプラスチックへの転換
○海洋プラスチックごみ対策
○せんだい文学マップの活用
○文学を観光のコンテンツに
○青葉山エリア整備に文学を
○魯迅記念の公園について

小山　勇朗　委員

○町内会等へ組織支援、財政支援、さらに広報活動の支援を
○脱炭素に向けた太陽光発電等の設置や導入への支援と補助額・件数増加の取り組みを
○耐用年数経過後の使用済み太陽光パネルの不法投棄防止に向けた指導・監督
○高断熱住宅促進事業の充実と市民への啓発を
○夜間中学設置について

辻　隆一　委員

○フードバンク団体への支援
○地球温暖化対策推進計画の見直しは本市実態を踏まえて
○カーボンニュートラルの実現と原子力発電

佐藤　正昭　委員

○多様な震災遺構や観光資源等がある東部沿岸エリアについて、若年者に向けたダボイバイク等や交通弱者のための周遊バスで回遊性を高め、より高い復興発信とにぎわい創出を
○仙台市体育館を大規模改修でコンサート開催可能な施設に

東部沿岸部は民間事業者等とも連携し活性化を（画像はアクアイグニス仙台）

市民と未来のために

伊藤　ゆうた　委員

問　廃止された市営バス営業所の食堂について、復活を望む声がある。乗務員の福利厚生の観点から、民間の設置型食事提供サービスの利用等、食事提供機能の一部を復活させることも含め検討すべき。
答　職員が継続的に利用し採算性が確保できるか等、事業者や職員の意見を踏まえながら、食事サービスの提供可能性を幅広く検討する。

廃止された市営バス営業所食堂の現在の様子（交通局木町通駐車場内）

令和4年度　市税の内訳

	当初予算額（百万円）	構成比（%）	対前年度比（%）
市民税	109,544	49.9	104.4
固定資産税	78,534	35.8	110.3
軽自動車税	1,936	0.9	107.3
市たばこ税	7,123	3.3	97.5
鉱産税	3	0.0	150.0
特別土地保有税	4	0.0	66.7
入湯税	137	0.1	99.3
事業所税	5,785	2.6	97.5
都市計画税	16,110	7.4	109.3
合計	219,176	100.0	106.4

令和4年第2回定例会は、6月9日（木）開会の予定です。